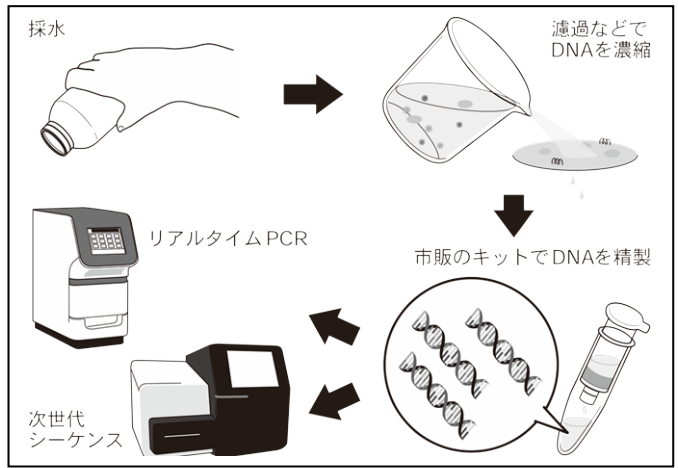




採水状況



分析方法 (写真・図提供：源 利文氏)

2016年度 第1回自然学習講座

新しい生物調査法「環境DNA分析」 ～一杯の水から生息種がわかる～

近年、川や海の水を採取し成分を調べると、どんな生物がいるかがわかる分析法が実用化され、注目が集まっています。生物そのものを見つけなくとも、生物から出された「環境DNA」を調べることによって生息の有無を調べる手法です。大がかりな採集調査をすることなく、生息の有無が推測できるため、環境アセスメントの予備調査として有効であるほか、外来種の侵入をいち早くキャッチできるので早期対策をとることもできます。

その調査手法を手掛け、実際の生息調査にも活用をされている講師をお招きして、その調査方法や、それらを活用しての保護対策等についてお話いただきます。

◆日時：2016年12月10日(土)
14:30～16:30

◆場所：豊中市立中央公民館
(阪急曽根駅下車、東へ徒歩5分)

◆講師：源 利文さん
(神戸大学大学院人間発達環境学研究科 特命助教)

◆定員：30人 ◆参加費：無料

◆その他：当日会場でも受付します。

保育はありません。公共交通機関をご利用ください。



◆申込み・問合せ

とよなか市民環境会議アジェンダ21

TEL: 06-6844-8611 (eMIRAIE 環境交流センター内)

主催 NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 自然部会
(この事業は環境交流センター指定管理事業として実施します)